

健康長寿センター事業

高知県立大学社会福祉学部

# リカレント教育講座

知のフィールドへの招待  
2013

## 開催日

- 10月5日(土)
- 10月12日(土)
- 11月2日(土)
- 12月7日(土)

高知県立大学社会福祉学部は、社会福祉領域のプロフェッショナルを養成する四国内唯一の公立大学であり、西日本の公立大学ではただひとつ、三福祉士資格に対応しています。



全講座  
無料

# ごあいさつ

高知県立大学社会福祉学部

学部長 前山 智

日頃は、本学の社会福祉教育にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

本学は平成 23 年度より高知県立大学に名称を変更し、男女共学化となり 3 年目に入りました。特に本学部は、平成 22 年度より定員を 30 名から 70 名に増員し、3 つの福祉士国家資格(社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士)に対応したカリキュラムでスタートしています。今後もこれまでの face-to-face のきめ細やかな教育を継続し、専門職養成の量の確保及び質の向上を目標に取り組んでいきたいと考えております。

今年度のリカレント教育講座につきましては、社会福祉学部の新任教員や例年好評をいただいている教員が担当し、地域の保健・医療・福祉に携わる専門職の方々や地域にお住まいの皆さまへ向け、社会福祉に関する 4 つのテーマで講演や演習形式の講座をご用意しています。

お気軽にご参加いただき、日頃の実践に多少なりともお役に立てれば幸いです。



## 講師プロフィール

### 田中 眞希(助教)

持ち上げない介護

愛媛県出身。身体障害者療護施設アイルにて、介護職員として 6 年間勤務した後、聖カタリナ大学助手として赴任。赴任後、高知女子大学人間生活学研究科に在籍し、修士(社会福祉学)を取得。2011 年に高知県立大学に助教として赴任。

障害児・者の生活支援を行っていた経験を生かし、学生とともに介護福祉士の専門性について考えている。

### 田中 きよむ(教授)

社会保障制度改革推進法と  
社会保障制度改革のゆくえ

滋賀県生まれ。滋賀大学経済学部卒業、同大学院修士課程修了、京都大学大学院博士後期課程単位取得退学後、高知大学教員を経て、2006 年度から高知女子大学(現 高知県立大学)教授。担当教科は、社会保障、福祉行財と福祉計画、低所得者に対する支援と生活保護制度など。主な著書は、『少子高齢社会の社会保障論』(単著、中央法規出版、2010 年)、『限界集落の生活と地域づくり』(共著、晃洋書房、2013 年)など。

### 山村 靖彦(准教授)

地域福祉を考える  
—ソーシャル・キャピタル  
の視点から—

宮崎県高千穂町生まれ。社会福祉士として病院、施設、社会福祉協議会に勤務。大分大学大学院福祉社会科学研究科、高知県立大学健康生活科学研究科修了(社会福祉学博士)。教員としては、保育者養成にも携わってきた。

専門は、地域福祉。過疎地域における生活問題や、ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)に関する研究を行っている。

本年度より現職。

### 遠山 真世(講師)

「障害」とは何か？  
—社会に潜む差別に気  
づく—

東京都立大学大学院社会科学研究科社会福祉学専攻博士課程修了(博士・社会福祉学)。立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科助手、立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科助教を経て、本年度より現職。専門は障害者福祉。中でも、障害者の雇用・就労の問題について政策や実態を分析し、どのようなあり方が「平等」なのかを検討している。またこれまでのゼミ活動では、障害のある方々と学生たちが楽しく交流する機会を設け、より深い意味で「理解する」とはどういうことか、一緒に考える活動を行ってきた。

高知県立大学社会福祉学部  
リカレント教育講座

-知のフィールドへの招待-

10月5日(土) 13:30~15:30  
看護福祉棟 1階 F110/F109

持ち上げない介護

助教: 田中 眞希  
(定員: 30名)

介護現場で働いていると、腰痛に悩まされていると思います。私も介護現場にいたときは、腰痛に悩まされていました。

介護現場で移乗の際に高齢者を抱える方法は一般的ですが、その方法ではかなり腰への負担が大きいことが分かっています。腰への負担が少ない移乗や移動の方法、「持ち上げない介護」について基本的な知識を理解し、一部体験していただきたいと思います。

この機会を通して、移乗や移動の方法を見直す機会となり、今後の支援への一助となればと考えています。

10月12日(土) 13:30~15:30  
共用棟 2階 大講義室

社会保障制度改革推進法と社会保障制度改革のゆくえ

教授: 田中 きよむ  
(定員: 100名)

社会保障・税一体改革は、前政権の下での三党合意(2012年6月)を経て、その関連8法が成立しました(同8月)。「高齢者3経費」(年金・医療・介護)、「社会保障4経費」(プラス少子化対策)に主な焦点を合わせ、それらの分野を中心に給付を抑える一方で、制度改革や高齢化に伴う経費などを消費税の増税(2014年4月8%、2015年10月10%へと段階的に引上げ)で充当しようとするものです。

しかし、年金制度や高齢者医療制度など、その具体的な制度改革の内容が、社会保障制度改革推進法において、社会保障制度改革国民会議という内閣の審議会に委ねられた部分もあります。そこで議論されている内容も含め、年金、医療、介護、保育、生活保護などの今後の社会保障制度改革の方向を探ります。

11月2日(土) 13:30~15:30  
共用棟 2階 大講義室

地域福祉を考える

—ソーシャル・キャピタルの視点から—

准教授: 山村 靖彦  
(定員: 100名)

地域福祉といっても、その捉え方は実にさまざまで一様ではありません。本講座では、まず「地域福祉とは何か」について検討し、その上で、現代社会における地域福祉の役割や課題、方向性について考えます。

地域福祉に関する法・制度的理解に加え、最近よく耳にする「つながり」や「絆」、「(社会的)孤独」などに関する社会的背景や意味、課題性について、ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)という概念を用いながら考えたいと思います。

12月7日(土) 13:30~15:30  
社会福祉学部棟 1階 E103教室

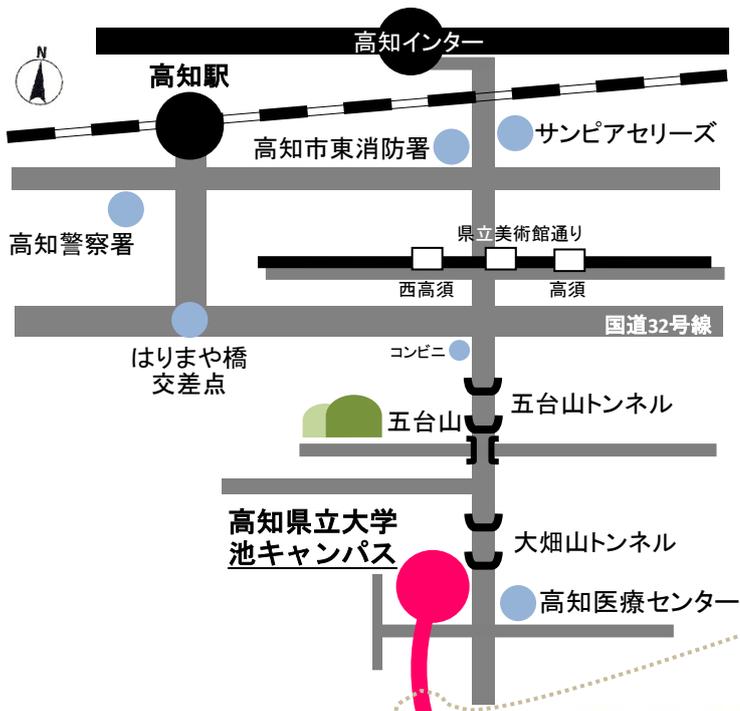
「障害」とは何か?

—社会に潜む差別に気づく—

講師: 遠山 真世  
(定員: 80名)

近年、スポーツや芸術などで活躍する障害者や、地域へ出て暮らす障害者も増え、障害のある人に対する理解も広がってきました。また、学問においても「障害」をめぐる新しい考え方が示され、普及しつつあります。その一方で、生活や人生の幅が大きく限られている障害者も多く、また、そうした問題を知らない人や関心のない人も数多くいます。

本講座では、「障害」とは何か? 「差別」とはどのようなことか? をみなさんと一緒に考えたいと思います。それを通して、社会にある問題に気づき、改善や解決につなげるヒントを得ていただければ幸いです。



- J R 高知 駅から／車で約 20 分
- はりまや橋から／バスで約 20 分
- 高知インターから／車で約 20 分



高知県立大学社会福祉学部  
Faculty of Social Welfare, University of Kochi  
池キャンパス

〒781-8515 高知県高知市池 2751-1  
本講座に関するお問い合わせ先  
Mail: recurrent-sw@cc.u-kochi.ac.jp  
TEL : 088-847-8610(実習支援室内)  
<http://www.u-kochi.ac.jp/~fukushi/>